



つじむら たける
辻村 岳瑠 議員
(至誠)

人工芝グラウンドの可能性

問 平成6年富士宮サッカー協会は3万1766名の署名を添えサッカー専用グラウンド建設に関する陳情書を、平成27年には2500人を超える署名を添え芝生グラウンドの整備に関する要望書を提出した。富士宮市サッカー専用グラウンドの可能性を改めて須藤市長に伺う。

市長 1日でも早い人工芝グラウンドの実現を目指している。ナイター設備のある山宮ふじざくら球技場を人工芝化することを考えた。サッカー専用グラウンドというわけにはいかないが、サッカーやソフトボール等ができ、多くの人々が利用することができる多目的な人工芝グラウンドを整備したいと考えている。

ごみ出し困難世帯とペットボトルリサイクル

問 特別交付税措置の活用について伺う。



えんどう ひであき
遠藤 英明 議員
(蒼天)

市長及び財政部長通知令和3年度予算編成方針並びに予算要求について

問 コロナ禍が今後の地方財政運営にどのような影響を及ぼすと考えるか。

部長 新型コロナウイルス感染症の拡大は経済的、社会的に甚大な影響を及ぼし深刻な経済危機に直面し、地方税の大幅な減収等、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

問 本市の財政状況について、個人消費の停滞はあらゆる分野に影響を及ぼす。地方消費税交付金の動向をどのように捉えるか伺う。

部長 地方消費税交付金は、個人所得や消費活動等の動向の影響を大きく受けると認識。地方財政計画や交付状況を踏まえ、その影響の時期や規模を判断し予算に反映させたい。

問 ふるさと納税の一層の財源確保が望まれる

部長 特別交付税の活用等も含め考えていく。近隣住民同士の助け合い活動の推進、あるいは回収業者による戸別回収を開始するのかを検討。

問 ペットボトル推進協議会報告書では、回収されたペットボトルの内、57%が熱回収であった。このことから、家庭にたまるペットボトルを減らすためにも、ペットボトルと可燃ごみを一緒に出せる日を設けてはどうか。リサイクルという部分最適ではなく、全体最適を考えた時の市の考えについて伺う。

部長 国の政策もあるため、市としてはそれに従う形でリサイクルを進めていきたい。

ラジオで徘徊を救う

問 65歳以上の5人に1人が認知症になる時代を迎えるにあたり、地域から認知症への考え方を転換させる必要がある。ラジオFで行方不明者や徘徊を呼びかけることについて、市の考えを伺う。

部長 情報提供の方法、経費及び有効性について検討を進める。

が今後の戦略を伺う。

部長 戦略として次の4点について重点的に取り組む。①リピーターの獲得、②魅力的な返礼品の拡充、③情報発信、④用途の明確化。

第5次富士宮市総合計画第4次執行状況報告書について

問 地域の温室効果ガスを減らす成果指標の進捗率、達成率が低かった要因は何か。

部長 二酸化炭素排出量について、産業部門の製造品出荷額増加、廃プラスチックの焼却処理の増加等、経済活動の活性化が考えられる。

問 再生可能エネルギーの導入の実績と今後の取組について。

部長 令和元年度の実績は目標値を上回る実績だった。この要因は創エネ・畜エネ機器等設備補助事業や小水力発電事業支援の成果を反映したものと考えている。引き続き再生可能エネルギーの普及啓発と導入の促進を図る。

